

# なかの 市議会だより

10月号

2020年(令和2年)  
10月20日発行  
No.62

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



豊井小学校

閉校する  
小学校

最後の  
運動会



永田小学校

● 市政一般質問	その他	意見書案	人事案	事件案	決算案	予算案	条例案	● 議案件数及び議決内容	開会	閉会	会期
25件	1件 1件	3件	1件	4件	9件	5件 1件	3件		9月1日	9月24日	24日間
	選任 可決	可決	適任	可決	認定	可決 承認	可決				

9月定例会

## 新型コロナウイルス感染症対策について

松樹純子



**質問** 特別定額給付金の支給実績と未申請者へのこれまでの対応は。

**答弁** 未申請者へは、二度勧奨通知を送付し、70歳以上の一人暮らし世帯へは個別訪問も行った結果、給付率は99・8%となった。

**質問** 信州なかの未来券の参加事業者数と販売実績は。

**答弁** 321事業者が申請し、発行総額は約1億5千万円が見込まれる。

**質問** この事業への評価は。

**答弁** 事業者支援に一定の効果があったと認識しているが、反省点もあり、今後市内事業者の経営継続支援と、経済回復に向けて取り組んでいきたい。

**質問** 市民への情報発信のコンセプトは。

**回答** 国や県が公表する情報を踏まえ、感染拡大防止に関する情報を発信するとともに様々な相談窓口を紹介するなど、市民の不安を解消するための情報を発信している。

**質問** 市民への情報発信のコンセプトは。

**回答** 国や県が公表する情報を踏まえ、感染拡大防止に関する情報を発信するとともに様々な相談窓口を紹介するなど、市民の不安を解消するための情報を発信している。

報告と支援要請があった。他の医療機関でも収入減少や医療物資不足などの影響があったと認識している。また、マスクの支援要請もあった。

**質問** 市民への情報発信のコンセプトは。

**回答** 国や県が公表する情報を踏まえ、感染拡大防止に関する情報を発信するとともに様々な相談窓口を紹介するなど、市民の不安を解消するための情報を発信している。

未満児保育需要の増加、保育士不足、老朽化した施設の建て替え等課題は多い。

**質問** 「保育所の在り方に関するアンケート」の結果は、今後どう活用するのか。

**答弁** 「中野市保育所あり方検討懇話会」の基礎資料として活用する。

その他の質問  
・市業務の民間委託について



## 新自由主義と市政について

阿部光則



**質問** 1980年代以降、小さな政府という理念で自治体を担う職員が削減され続け、災害時等への対応で

困難を来しているがどうか。

**答弁** 国の指針に基づき、行政改革に取り組み、効率的な組織や人件費の削減と

このことは承知している。

安全・安心の地域と

いうメリットを得たものの、大規模な自然災害などの対応が難しくなったことも事実として認識している。

**質問** 新型コロナウイルス収束後の社会は、新自由主義からの転換を求める声

が広がっているがどうか。

**質問** 新型コロナウイルス収束後の社会は、新自由主義からの転換を求める声

が広がっているがどうか。

**質問** 新型コロナウイルス収束後の社会は、新自由主義からの転換を求める声

が広がっているがどうか。

が広がっているがどうか。



市長の政治姿勢について

高野 良之

**答弁** この特例は、介護事業所が、利用者やその家族へ事前に説明を行い、それぞれが同意を得たうえで実施している臨時的な措置であることから、現在のところ考えていない。

**質問** 感染により重症化リスクの高い介護・医療現場

の関係者への積極的なPCR検査の推進はどうか。

**答弁** 県において必要な方に対して適切に対応していることから考えていない。

コロナ禍における学校教育について

**質問** 感染防止対策は、どのようにされているか。

**答弁** 各教室での身体的距離の確保は、各自の座席を1m目安に可能な限り間隔をとり、頻繁な換気などを

行う対策を取っている。

**質問** 小・中学校の臨時休業による学習の遅れがある。本市の学習進度の状況は。

**答弁** 県教育委員会が行った状況調査で、7月末時点での本市の平均値は、小学校73・8%、中学校80%であった。

**質問** コロナ禍で子供たちはストレスを抱えている。一人一人に寄り添い、学習の進め方も柔軟に対応していくべきではないか。

**答弁** 子供たち一人一人の心のケアに努め、詰め込みにならぬよう柔軟な対応を大事にしていく。

市民会館リノベーションについて

**質問** 新型コロナウイルスの流行により日本の経済状況は大きく変わった。非常事態が続いている中、21億円も使っている中、工事をするのは市民感情を逆なでするよう思われる。一度立ち止まってみてはどうか。

い。中野市の未来のために立ち止まって考えてほしい。(要望のみ)

その他の質問  
・公共施設の利活用について

**質問** 市長は4年間の総括をされたか。

**答弁** 未達成の項目があり自己採点は80点としている。自信をもって言えることは懸案の市庁舎整備が完成し、防災拠点として、市民の集いの場の施設ができた。

3期目は取り組み課題をしっかり克服し、時代の流れに遅れることなく、誰もが誇れる郷土づくりに臨んでいきたい。

**質問** 音楽都市の原点は何か。

**答弁** 中山晋平先生、高野辰之先生を起点とする童謡、

唱歌のふるさととして全国に名をはせている都市で、名がここに存在すること。音楽を通じて各地と繋がっている。

**質問** 信越自然郷について飯山駅に中野市の看板を出したいとされていたが実現できていないが、実現への考えは。

**答弁** 飯山駅には今、良い場所がない。何らかの形で宣伝の場所を持ちたい。

**質問** 平成27年7月に発売されたプレミアム付「元気がでる商品券」について、どのような結論が出たか。

**答弁** 改めて調査は行わない。

**質問** 市長名、買った本人の名前でお詫び文を出したかどうか。とにかく市民を納得させてほしい。

**答弁** 元気がでる商品券は、商工会議所と話し合いをして進めてきた。その一端の責任は市にもある。販売方法については、大いに反省をしている。今後、改めていくということ、自身も強く戒めをもって臨んでいる。今後とも、こうした商品券事業は多々あると思うが、細心の注意を持って臨んでいく。

**答弁** 令和3年度に発注し、令和4年10月の開館を目指して進めている。

**質問** 旧中野高校敷地には、庁舎建設時の残土があり、シートと網で覆ってあるが、何か問題があるのか。

**答弁** 新庁舎の掘削で、土壌検査の結果、ヒ素が含まれているとのことであり、あそこに保管している。

**質問** 立ち止まってみることは決して悪いことではな





農業振興について

永沢 清生

質問 モモ栽培の現状をどう捉えているか。

答弁 全国的にモモせん孔細菌病の発生が続いている状況や近年多発する自然災害により、思うような収穫ができず、生産者の皆さんは大変苦労されていると聞いています。このような状況の中で、モモ栽培からブドウ栽培へ切り替える生産者もいることから、生産量も減少傾向にあると推察している。

質問 支援の状況は。

答弁 モモせん孔細菌病の全国的な発生を受け、国が支援を検討している。詳細が示されたら、速やかに知らせしていく。

質問 無機銅剤、ストレプトマイシン、防風資材等への支援をしてはどうか。

答弁 国の支援内容を確認した上で、JAと相談しながら考えていく。

を月当たり5枚給付している。紙おむつを廃棄する上で、有料のごみ袋の支給は、子育て世帯の経済的な負担の軽減につながる有効な支援策と考えている。

質問 子育て用品におむつ関連用品、マスク、消毒液等を追加してはどうか。

答弁 新型コロナウイルス感染症の予防対策としても有効と考える。子育て世帯の皆様の声を聞きながら、検討していきたい。

(注) モモせん孔細菌病

モモ栽培における難防除病害のこと。細菌によって起こる病害で、果実被害や早期落葉が問題となる。風当たりの強い園や地域では特に発生しやすく、近年、発生が拡大している。



市民会館リノベーションについて

塚田 一夫

質問 施設の耐震性能の確保をはじめ、バリアフリー化、多様化する利用ニーズに対応した舞台、さらには音響や館内設備の更新などが図れる基本設計案には、市民からの要望などがどのように反映されているのか。

答弁 地下トイレの移設、舞台裏や地下楽屋の利便性の向上、座席の更新など、可能な限り反映したものである。また、パブリックコメントによる要望についても、設計者と協議し、利便性・実用性に鑑みて検討していく。

質問 全体工事費予算約21億円の中で、公共施設等適正管理推進事業債に係る令和3年度事業による交付税措置額の見込みは。

答弁 14億4千万円程度の借入を予定し、6億2千万円程度の交付税が措置されると見込んでいます。

質問 工事の発注方法は。

答弁 耐震補強だけではない大規模改修となり、複雑な工事の管理を要するため、実施設計の内容を勘案して

決定する。

新型コロナウイルス感染症対策について

質問 事業者、特に一番困窮している飲食店等への聞き取りはしないのか。

答弁 直接訪問はしていないが、窓口での相談は随時実施している。また、商工会議所に製造業の景況調査等を委嘱して実施している。

質問 新たな市独自の支援策の内容は。

答弁 事業者への新たな支援策として、事業収入が30%以上50%未満の範囲で減少し、国の持続化給付金の対象とならない事業者に対し、10万円を上限に給付する中野市事業継続給付金を実施する。





個人情報保護について

青木正道

質問 非常勤特別職の民生児童委員は、民生委員法等

に基づき、地域住民の生活状態を把握し、相談・助言

などの活動をされているが、必要な個人情報でも、市は本人同意のないものは教えてくれない。このことをどう考えているか。

答弁 中野市個人情報保護条例に基づき、本人同意のない個人情報の提供は行っていないが、活動に当たり、

市保有の情報は重要である。質問 災害発生時に関係者への個人情報提供は可能か。答弁 避難行動要支援者名簿を作成しており、個人情報を提供することに同意を得られた692人が登録され、区長、民生児童委員等へ提供している。また、同意の

ない方の情報も災害発生時には災害対策基本法に基づき、情報提供する。



新型コロナウイルス感染症対策について

中村明文

質問 市民への情報提供はしつかりする必要があるかどうか。

答弁 市民への情報提供は、公式ホームページ、広報などの各媒体の特性を活かして発信し、積極的な情報活動を行っている。また、

市内医療機関から新型コロナウイルスウイルス感染拡大の影響により、マスクの提供要請があり、市の備蓄から配布した。今後も状況に応じて積極的に連携を図っていき

質問 市職員やソーシャルワーカーへのPCR検査を実施してはどうか。

答弁 PCR検査は県において対応しており、市では検査の実施については考えていない。

質問 医療機関との連携が重要になると思うがどうか。答弁 中高医師会をはじめ、

ちょうどいい田舎暮らし推進係について

質問 係設置以降の推進活動、中野市への移住者の現状と、これからの活動は。

答弁 人口減少対策として市の総合戦略の柱に据えている移住施策を進めるため、営業推進課の係を再編した。市への移住者の現状について、県外からの移住者は、

5月が8人、6月が9人、7月が18人、8月が14人、4か月で49人となった。今後の活動は、オンラインによる移住セミナーの開催、テレワーク、サテライトオフィスの誘致、ワークショップなどの体験施設の整備など関係人口の創出を行っていききたい。

市の財政運営について

質問 令和元年度決算についての市長の評価は。

答弁 令和元年度決算について、昨年の東日本台風被害による復旧作業・復興支援を進めながらではあったが、総じて予定していた事業は順調に執行できた。各会計等についても良好な決算であると認識している。

質問 来年度の歳入見通しはどうか。

答弁 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がさほどないと考えているが、来年度は市民税や国・県からの交付金等の減収、固定資産税の減免措置などにより、例年どおりに一般財源を確保することは難しいと考えている。

(注) ソーシャルワーカー 社会の中で日常生活を送るのが困難であったり、問題を抱えたりしている人とその家族に対して、適切な助言や支援を行う専門職の総称のこと。

テレワーク ICT(情報通信技術)を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと。

サテライトオフィス 企業または団体の本社から離れた所に設置されたオフィスのこと。

ワークショップ 仕事(ワーク)と休暇(バケーション)を組み合わせた造語で、リゾート地など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇を過ごす仕組みのこと。



人権政策と部落解放  
都市宣言について

高木尚史

**質問** 新型コロナウイルス感染症発症者が8人と報道されている。誹謗中傷や本人特定など陰湿な一面も報道されている。人権問題に対する対応はどうか。

**答弁** 人権相談窓口への相談はないが広報なかの等を活用して啓発を行っている。

**質問** 南宮中学校の固有名詞が公表されたことによる、教育現場の現状と人権問題に対する対応はどうか。

**答弁** あらゆる学習の機会を捉えて、差別や偏見の心

を持たないための指導を行っている。

**質問** 部落解放都市宣言制定への検討状況はどうか。

**答弁** 合併20周年などの周年を捉えて検討している。

**質問** 大正10年、日野覚醒会が会則を定めて正式に発足し、部落解放運動が起これから100年目を迎える節目の来年に、今までの運動を総括し、記念年として都市宣言をすべきだがどうか。

**答弁** 検討していきたい。

ごみ問題等について

**質問** 剪定枝や金属などの不燃性粗大ごみの収集内容の変更に伴う影響はどうか。

**答弁** 剪定枝の回収回数を増やして欲しいとの意見がある。不燃性粗大ごみは会場の混雑や有料回収についての意見があり、今後、回収方法等について衛生自治会と研究していきたい。

**質問** プラスチックごみによる環境破壊が問題となり、プラスチック製品を一括回収する計画があるが、周知と対応はどうか。

**答弁** 環境省からの詳細が明らかになり次第検討したい。プラスチックごみ削減に対する周知を図っていく。

**質問** 台風等による災害ご

みへの対応の教訓と今後の対応方針はどうか。

**答弁** 令和元年東日本台風では、仮置き場が手狭で分別スペースが不足した。関係機関との連携や応援体制の構築等の必要性を痛感し、その経験を活かしたい。

国勢調査について

**質問** コロナ禍で、調査員の研修と非接触型の調査対応はどうか。

**答弁** 中野市実施本部を設置し207人による体制を整え、説明会も終了した。直接対面を最小限とし、インターホンやインターネット回答および郵送提出の促進を図っていく。

**質問** 高齢者やスマートフ

ォン、インターネットを利用できない方たちへの丁寧な対応が必要だがどうか。

**答弁** 今回は大型統計調査であり、交付税の基礎人口となることから、しっかりと対応をしていきたい。

(注) 覚醒会

大正7年4月、日野村新野で融和運動の活動を始めた組織のこと。  
大正10年2月に名称を日野覚醒会と正式に称して会則も備えた。  
大正10年は、融和による部落解放運動が力強く起こった年である。



新型コロナウイルス感染症  
による公共施設への影響に  
ついて

中村秀人

**質問** 前年と比較した温泉施設の状態はどうか。

**答弁** 本年2月から7月ま

での入館者数は、前年よりほんぼこの湯で1万7千290

人、もみじ荘で1万3千705

人、まだらおの湯で9千72人減っている。また、3施設とも収入より支出が上回っている。

**質問** コロナ対応支援策をどのように取り入れたのか。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症対応指定管理者休業協力金として1施設70万円を支給した。また、支給要

件を満たした指定管理者は、国の持続化給付金の支給を受けている。

**質問** 今後の経営再建に向けた取り組みはどうか。

**答弁** 入館者を増やすため、食事メニューの充実のほか、自然や景観を活かしたイベント等の実施を指定管理者に提案していく。

有害鳥獣被害の現状と対策について

**質問** 前年と比較した農林業被害の状況はどうか。

**答弁** 被害面積と被害金額は、ともに減少している。しかし、イノシシによる被害は、面積で55a、金額で32万3千円増加しており、

ニホンザル、ハクビシンによる被害は、減少している。  
**質問** 捕獲檻、くくり罠の設置状況と今後の対策は。  
**答弁** 捕獲檻は、日野、延徳、科野、倭、豊井、永田地区に設置。くくり罠は、延徳地区に設置した。増設については、巡回する回数

や人数を増やす必要があるため、今後研究していく。  
**質問** 監視カメラの設置等IOTを活用する考えは。  
**答弁** 中野市農作物害鳥獣駆除推進協議会で試験的に設置しているの、結果を踏まえて導入を研究する。

(注) IOT  
 日本語では一般的に「モノのインターネット」と訳される。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすること。モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値が生み出される。



## 令和元年東日本台風による水害対策について

芋川 吉孝



**質問** 千曲川の河道掘削と遊水地設置はいつの予定か。  
**答弁** 国では令和6年度を目途に、早期実現を検討中。  
**質問** 越水個所の対応は。  
**答弁** 国では河道掘削による水位低下を主たる計画としつつ、各種対応を検討中。  
**質問** ペットと共に避難所へはいけない。密を避けるため、車による高台への避難場所の確保はどうか。  
**答弁** 地元区と相談する。  
**質問** 避難所から自己判断で帰宅する人もおり危険である。明確な避難所閉鎖の

基準が必要と思うがどうか。  
**答弁** 気象情報や河川水位状況等を総合的に判断する。  
**質問** マイ・タイムライン講習会の成果は。  
**答弁** 4公民館で開催し、今後も実施したい。  
**土砂災害等について**  
**質問** 市の土砂災害警戒区域と特別警戒区域の数は。  
**答弁** 警戒区域は395カ所、うち特別警戒区域は328カ所。  
**質問** 土砂災害防止法と地すべり等防止法の違いは。

**答弁** 土砂災害防止法は被災の恐れのある区域を指定し、ハザードマップ等で周知。地すべり等防止法は抑制や対策工事を行うため、発生場所や隣接地域を指定する。  
**質問** 大俣地区の地すべりの実態と規模等は。  
**答弁** 前回は平成24年に農地法面の表層崩壊の兆候が確認され、土地改良事業分担金徴収条例により復旧工事費195万余円の2割負担をお願いした。今回の地すべりは長さ約35m、幅約25m、面積約800㎡、関係地権者は個人2名と共同墓地所有者である市の3者。  
**質問** 今回の復旧工事の概算と今までの公費負担額は。  
**答弁** 公費負担の応急対策費用は約870万円、復旧工事

費は約千500万円となる。補助金等はないが、今後、地元区長等と相談する。  
**質問** 被災者負担のない国の地すべり防止区域指定を提案するがどうか。  
**答弁** 国の指定であり、開発行為等に制限がかかるため、地元区と調整し進める。  
**質問** 指定までの期間は。  
**答弁** 1年半から2年。  
**新型コロナウイルス感染症対策について**  
**質問** パーティションの設置目的と数は。  
**答弁** ウイルス飛沫感染防止の間仕切りとして、一張約4、千700張を配備。  
**質問** 共用施設の感染防止策とトイレの用意は。  
**答弁** 避難した皆さんの協

力を得て共用部分の消毒をする。簡易トイレ16基、ダンボール組み立て式480個の用意がある。



## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案1件、予算案3件、事件案2件について、9月16日に審査しました。

主なものとして、令和2年度中野市一般会計補正予算(第9号)について、補正総額4億625万7千円を追加し、補正後の予算総額は、270億9千211万7千円となるものです。

歳入では、地方交付税2億846万千円の増額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など国庫支出金9千150万2千円の増額、繰入金2億4千3万円の減額、令和元年度からの繰越金3億801万3千円の増額などです。

歳出では、議会費は、議会運営費302万9千円の減額、総務費は、防災用備品購入費662万8千円の増額、財政調整基金積立金で2億6千万円の増額、教育費は、中学校維持整備事業費472万8千円の増額、中学校外国語教育推進事業費の海外短期留学グローバル講座委託料855万2千円の減額などで、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案1件、予算案2件、事件案2件については、原案どおり承認および可決されました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案1件、予算案4件について、9月16日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について、国の指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準等の改正に伴い、指定居宅介護支援事業所における管理者要件および当該要件の適用の猶予について改めるため、所要の改正をするもので、原案どおり可決されました。

予算案では、令和2年度中野市一般会計補正予算(第9号)について、民生費では、放課後児童クラブ管理事業費のエアコン設置工事費など千127万円の増額、保育所運営事業費の備品購入費372万6千円の増額、衛生費では、保健衛生総務事務費で994万千円の増額など、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する事業も盛り込まれており、原案どおり可決されました。

そのほかの予算案3件については、いずれも原案どおり可決されました。

市議会を  
傍聴しませんか



手話通訳申請  
ながの電子申請サービス

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。  
市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。  
聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。  
音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

**傍聴等に関するお問い合わせ先**  
電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922  
Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。  
インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでいつでも本会議の様様を視聴することができます。是非、ご覧ください。

**視聴方法**  
中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス  
**中野市議会ホームページ**

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

**配信している議会中継** 平成30年5月市議会臨時会分～

**配信時期** 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。





## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案2件、事件案1件について、9月16日に審査しました。主なものとして、令和2年度中野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分の

報告について、令和2年7月豪雨による災害復旧事業として、農林水産施設災害復旧費6千6百91万5千円の増額、公共土木施設災害復旧費552万8千円の増額であり、原案どおり承認され

ました。令和2年度中野市一般会計補正予算（第9号）について、農林水産業費では、遊休荒廃農地対策事業費450万円の増額、コロナに負けない農業応援事業費千750万

円の増額、商工費では、商業振興事業費3千711万4千円の増額、土木費では、道路橋梁維持事業費890万9千円の増額などであり、原案どおり可決されました。そのほかの条例案1件、

事件案1件については、いずれも原案どおり可決されました。

## 決算特別委員会報告

9月定例会開会日におきまして、議長および議会選出の監査委員を除く議員18人による決算特別委員会が設置され、委員長に松野繁男議員、副委員長に小林忠一議員を選出し、令和元年度の決算議案の審査を行うこととしました。

なお、決算特別委員会による決算議案の審査は、今回で4回目となりました。

この決算特別委員会に付託された決算認定議案9件、事件案1件について、9月11日、14日および15日に審査しました。

主なものとして、令和元

年度中野市一般会計歳入歳出決算認定については、歳入総額234億5千524千849円、歳出総額222億7千112万6千28円となるものです。

歳入では、市税は個人住民税の増加などにより前年度比0・9%の増加、地方交付税は特別交付税の増加により前年度比7・8%の増加、市債は小学校統合推進事業および保育所維持整備事業の事業費の増加などにより前年度比26・4%の増加でありました。

歳入全体としては、前年度比14・2%の増加でした。歳出では、総務費は新庁

舎整備事業費の減少などにより前年度比18%の減少、民生費は保育所維持整備事業費の増加などにより前年度比18・4%の増加、衛生費は北信保健衛生施設組合分担金の増加などにより前年度比23・4%の増加、商工費は故郷のふるさと情報発信事業費の増加などにより前年度比14・2%の増加、土木費は橋梁修繕工事費の減少などにより11・4%の減少、教育費は小学校統合推進事業費に係る工事請負費の増加などにより前年度比72・8%の増加、災害復旧費は東日本台風による災

害復旧に係る事業費の増加により前年度比167・7%の増加でありました。

歳出全体としては、前年度比11・4%の増加でした。本議案については、審査の結果、原案どおり認定されました。

そのほかの特別会計および企業会計の決算認定議案8件、事件案1件については、原案どおり認定及び可決されました。



## ■意見書

### 〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

#### 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまででない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、中野市議会は、国に対し、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう強く要望するものである。

#### 記

1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること

2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること

3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること

5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要

な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること

#### 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

平成23年に公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員等の定数の標準に関する法律(以下「義務標準法」という。)が改正され、小学1年生に35人学級の導入が決定し、加えて、附則においては、小学2年生から中学3年生までの学級編成標準も以降順次改訂することを検討し、財源確保につとめるものと定めた。しかし、翌年の平成24年度は義務標準法改正ではなく教員の加配で小学2年生を35人学級としたが、それ以降、国の35人学級の導入に進展が見

られない。

長野県では平成25年度に30人規模学級(35人基準)を中学3年生まで拡大した。しかし、義務標準法の裏付けがないため財政的負担は大きく、小学校では本来配置されるはずの専科教員が配置されず、また、学級増に伴う教員増を臨時的任用教員の配置により対応するなど、課題も多く残されている。

いじめや不登校、生徒指導上の様々な問題が生じるなど多様化する学校現場に対応し、教員が一人ひとりの子どもと向き合い、行き届いた授業及び、きめ細やかな対応を行うためには少人数学級は欠かせない。この少人数学級については、厳しい財政状況にある地方公共団体に負担を強いることなく、国の責任において早期に実現する必要がある。また、長野県では少子化が進む中で、県や市町村が独自に教員を配置するなどして複式学級を解消しているが、地方自治体の財政的負担は大きなものとなっている。児童・生徒数が少ない市町村においても行き届いた教育を実現させるため、

国の責任において複式学級を解消するよう学級定員を引き下げることが大切である。

よって、中野市議会は、国に対し、下記事項の実現を強く要望するものである。

#### 記

1 国の責任において計画的に35人学級を押し進めるために、義務標準法改正を含む教職員定数改善計画を早期に策定し、着実に実行すること。また、そのための教育予算の増額を行うこと

2 国の複式学級の学級定員を引き下げること

#### 「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、国が必要な経費を負担することにより、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を図るための制度として、これまで大きな役割を果たしてきたところである。

しかし、国は財政状況を理由として、昭和60年度からこれまでに次々と対象項目を外し、一般財源化して



教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持・拡充し、負担率を2分の1に還元すること

きた。また、「三位一体」改革の議論の中で、義務教育費国庫負担制度は堅持されたものの、平成18年度から費用の負担率については2分の1から3分の1に引き下げられ、地方財政を圧迫する状況が続いている。今のままでは、財政規模の小さな県では十分な教育条件整備ができず、教育の地方格差の拡大が懸念される事態にすらなっている。よって、中野市議会は、国に対し、義務教育の水準の維持向上と機会均等及び地方財政の安定を図るため、下記事項を実現するよう強く要望するものである。

9月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和2年度中野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分の報告について	承認	議案第14号	令和元年度中野市債財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第2号	中野市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第15号	令和元年度中野市永田財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第3号	中野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議案第16号	令和元年度中野市中野財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第4号	中野市まちなか交流の家条例の一部を改正する条例案	可決	議案第17号	令和元年度中野市下水道事業会計決算認定について	認定
議案第5号	令和2年度中野市一般会計補正予算（第9号）	可決	議案第18号	令和元年度中野市水道事業会計決算認定について	認定
議案第6号	令和2年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	議案第19号	中野市立豊田小学校及び豊田中学校整備工事変更請負契約の締結について	可決
議案第7号	令和2年度中野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第20号	財産（小中学校学習用端末等）の取得について	可決
議案第8号	令和2年度中野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第21号	令和元年度中野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第9号	令和2年度中野市中野財産区事業特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第22号	市道路線の認定について	可決
議案第10号	令和元年度中野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第11号	令和元年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	可決
議案第12号	令和元年度中野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議第2号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書について	可決
議案第13号	令和元年度中野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議第3号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充を求める意見書について	可決

7月臨時会 結果

○会期 7月22日 1日間

○議案件数および議決結果  
 予算案 1件 可決  
 事件案 2件 可決



長野県市議会 議長会総会

7月16日、小諸市において第164回長野県市議会議長会総会が開催され、正副議長が出席しました。

総会では、退任された各市の正副議長への表彰状の伝達、会務報告の後、令和元年度歳入歳出決算、令和2年度歳入歳出補正予算および議長会として国・県へ提出する各市の要望事項について審議を行い、それぞれ可決されました。

その後、気象予報士 天達武史氏による「天達流の備え！ ～異常気象と気象災害対策～」と題する講演を拝聴しました。

表紙の写真

閉校する小学校で最後の運動会

来年4月に小学校統合により閉校となる豊井小学校は9月12日、永田小学校は9月19日に、それぞれ最後の運動会が行われました。今年、コロナ禍ということもあり、例年のように大きな声での応援ができなかったり、競技の数が減ったりしてしまいましたが、子供たちは練習の成果を一杯発揮し、さまざまな競



豊井小学校

技が繰り広げられ、子供たちは、地域の皆さんにとつての運動会となりました。



永田小学校



令和2年12月中野市議会定例会会期日程(予定)

- 開会日 11月30日(月曜日)
  - 市政一般質問 12月7日(月曜日)
  - 8日(火曜日)
  - 9日(水曜日)
  - 委員会 12月10日(木曜日)
  - 11日(金曜日)
  - 閉会日 12月15日(火曜日)
  - 請願・陳情について 12月定例会における請願書および陳情書の受け付けは、12月2日(水曜日)の午後1時までです。
- ※他の行事等により日程が変更する場合があります。



第5代後期議会だより編集委員名簿

委員長	青木 正道
副委員長	阿部 光則
委員	松樹 純子
"	宮島 包義
"	中村 明文
"	宇塚 千晶
"	保科 政次
"	若澤 孝幸
"	永沢 清生
"	高野 良之

(順不同)



あとがき

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言いますが、今年には本当にこの慣用句が身に染みる気がします。季節は秋へ移り、田んぼの稲穂も黄金色となり、運動会・秋祭りなど、イベントが楽しい時期のはずですが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、縮小しての開催、または中止となっています。人々が集うことが、当たり前前にはできない。想像もしていなかったことです。とにかく早く元の生活に戻れる日が来ることを願うばかりです。

昨年の令和元年東日本台風災害から1年が経ちました。いざという時のための準備をもう一度ご確認ください。「災害は忘れた頃にやってくる」はもう昔の話。普段から、家族で準備をしておくことが重要です。